

## 要 望 書

菅総理におかれましては、多忙な国務に御尽瘁のことと拝察申し上げます。令和二年九月、総理にご就任以来一年余、コロナ対応とデジタル庁創設を始めとする各種構造改革の推進及び東京オリンピック・パラリンピックの完遂と多忙極まりない至難な国務運営のご労苦に対し衷心より敬意と感謝を申し上げる次第であります。

さてこの度、コロナ対策に全力を尽くすため自民党総裁選に出馬せずの後継に道を譲られると伺っています。私ども「英霊にこたえる会」は昭和五十一年六月、中央参加団体四十五個の力を結集して創設以来四十五年にわたり「総理及び閣僚の靖國神社参拝を定着化し、天皇陛下御親拝の道を拓く」ことを悲願として広く国民運動を展開して参りました。

今更申すまでもなく今日の平和と繁栄は祖国のために殉じられた英霊のおかげであり、英霊の御霊に対し敬虔な誠と感謝を表すことは国際社会の常識であるとともに独立主権国家として当然のことであり、英霊顕彰なき国家に将来はないというべきであります。

二百四十六万六千余柱の英霊が鎮座します靖國神社は、明治天皇により創設され、爾来大正、昭和と歴代天皇陛下の御親拝を仰いで参りました。

また靖國神社は歴史に明らかなように他国の侵略意図を排し皇紀二千六百八十一年の歴史を有する誇り高き我が国の伝統、歴史、そして文化の象徴であります。

然し戦後生まれの世代が八割となった今日、国民の代表たる国会議員の靖國神社参拝は依然として低調傾向にあり、甚だ遺憾と云わざるを得ません。

「国事行為による戦争の犠牲者を祀る靖國神社に詣でることをしない国会議員は国政に参画する資格はなし」というべきではないでしょうか。

畏くも讓位あそばされた上皇陛下は、天皇陛下御即位以来三十年、戦死者の慰霊については格別の思召しで、ご遺族の方々に大御心を寄せられるとともに、国内外の戦場となった沖縄、硫黄島はもとより、サイパン、パラオ、フィリピンと外国での激戦地に御巡幸を重ねられ、慰霊の旅を続けてこられました。この慰霊の旅は、今なお残る戦争の爪痕を慰霊、鎮魂、反省、回顧、そして謝罪までを含めた多様な形で癒そうとされたものであろうと拝察し、この慰霊の旅の終着駅として靖國神社御親拝を期待申し上げて参りましたが、私共の切なる願いは叶えられず、平成の御代は天皇陛下の御親拝なき御代となってしまいました。

為し得れば令和の早い時期に天皇陛下の御親拝が頂けるよう期待申し上げます。

その為には、総理大臣の継続的な靖國神社参拝こそが肝要であります。

菅総理は春秋の例大祭に真榊料をまた八月十五日には玉串料を奉納されておられ、英霊に対する慰霊顕彰の御心は前総理に勝るとも劣らないものとご拝察申し上げます。

前安倍総理は着任早々の平成二十五年十二月二十六日に参拝され、また退任直後にも参拝をされておられます。菅総理におかれましては是非、御在任間に総理大臣としてご参拝頂き、後世に道を拓かれんことを切望するものであります。

令和二年九月二十八日

内閣総理大臣 菅 義偉 殿

英霊にこたえる会 中央本部

会長 寺島 泰三

英靈にこたえる会

中央本部

名誉会長

堀江

正夫

副会長

國松

善次

副会長

櫻井

よしこ

副会長

市來

健之助

副会長

大原

康男

副会長

藤田

幸生

副会長

折木

良一

特別顧問

水落

敏榮

都道府県本部

(中央参加団体)

日本遺族会

日本郷友連盟

偕行社

水交会

隊友会

神社本庁

佛所護念会教団

国柱会

各種女性団体連合会

三五教

神道青年全国協議会

JYMA(日本青年遺骨収集団)

特攻隊戦没者慰霊顕彰会

全国ソロン会

大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会